



氷川町議会だより

# 清流 ひかわ

No.38

令和2年  
12月定例会

希望の夜明け

**P2** ペルー在住平岡さんから寄附金  
竜北西部学童保育所整備基金に

**P4** 常任委員会審査報告

**P6** そこが聞きたい  
2議員が町政を質す

**P8** 臨時議会  
議会議員等の期末手当引き下げ

**P9** 研修報告

**P10** スポット 竜北歴史資料館

氷川（松本橋公園下流より）

# ペルー平岡氏より寄附金 新型コロナウイルス

令和2年12月  
定例議会

令和2年度 氷川町一般会計補正予算

# 一竜北西部学童保育所整備基金へ 感染症予防対策を強化

【第9号】 1億8423万円 可決

令和2年12月議会定例会は、12月7日～11日までの5日間の日程で開催されました。執行部から提出された議案は、条例の制定1件、条例の一部改正3件、令和2年度氷川町一般会計補正予算1件、特別会計4件、指定管理者の指定5件、固定資産評価委員会委員の選任同意3件。その他、国の責任による少人数学級の前進を求める意見書に関する請願1件、全18件の議案を審議し、請願を除くすべての議案を原案のとおり可決・同意しました。

## 条例の制定

- 氷川町竜北西部学童保育所整備基金条例の制定  
竜北西部学童保育所の整備に活用する寄附金を受領したので、整備費用に充てるために基金を創設する。

## 条例の一部改正

- 氷川町介護保険条例の一部改正  
租税特別措置法及び地方税法の改正に伴い、延滞金の割合の特例規定について、条例の一部を改正する。
- 氷川町国民健康保険条例の一部改正  
軽減判定所得の算定において、基礎控除額相当分の基準額を現行33万円から43万円に引き上げる等の改正に伴い、条例の一部を改正する。
- 氷川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正  
租税特別措置法及び地方税法の改正に伴い、延滞金の割合の特例規定について、条例の一部を改正する。



## 補正予算

- 令和2年度氷川町一般会計補正予算（第9号）  
歳入歳出それぞれ1億8423万4千円を追加し、86億2846万円とする。

## 主な歳出予算

- 総務費
  - ・ふるさと納税事業支援業務委託料 2750万円
  - ・竜北西部学童保育所整備基金積立金 4715万円
  - ・ふるさと氷川応援基金積立金 5000万円
- 民生費
  - ・障害福祉サービス費等 200万円
  - ・障害児通所給付費等 600万円
  - ・竜北福祉センター外壁改修工事 100万円
- 農林水産業費
  - ・攻めの園芸生産対策事業費補助金 80万円
  - ・くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業補助金 100万円
- 商工費
  - ・新型コロナウイルス感染症感染予防対策器具購入助成金 1800万円
  - ・竜北公園健康器具撤去工事費 86万円

## ●土木費

- ・空き家バンク促進補助金 600万円
- ・道路新設改良費（委託料） 800万円  
(町道河原鹿島西網道線道路改良測量設計業務)
- ・道路新設改良費（工事費） 1730万円  
(町道河原鹿島西網道線道路改良工事他3路線)

## ●教育費

- ・学生扶養世帯給付金 1335万円減額
- ・教室等床研磨業務委託料 448万円減額
- ・人材育成交流事業助成金 292万円減額

## 主な歳入予算（財源）

- ・国支出金 2407万円
- ・県支出金 447万円
- ・地方債 1220万円
- ・寄附金 1億円
- ・繰越金 4803万円
- ・繰入金他 454万円減額

## ●指定管理者の指定

施設の名称	指定管理者所在地	指定管理者氏名及び代表者
氷川町立神峡公園	氷川町立神648番地4	立神峡里地公園管理運営協議会 会長 高山 登
氷川町竜北物産館	氷川町大野875番地3	有限会社 氷川町まちづくり振興会 代表取締役 藤本 一臣
氷川町農産加工研修センター	氷川町大野875番地3	有限会社 氷川町まちづくり振興会 代表取締役 藤本 一臣
竜北福祉センター 宮原福祉センター 宮原ふれあいセンター	氷川町島地651番地	社会福祉法人 氷川町社会福祉協議会 会長 藤本 一臣
氷川町まちづくり酒屋 氷川町まちづくり情報銀行	氷川町宮原栄久31番地15	宮原まちづくり株式会社 代表取締役 藤本 一臣

指定の期間は、すべて令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

- 令和2年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
    - ・事業報告システム改修委託料 7万円
  - 令和2年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第2号）
    - ・介護保険制度改正対応委託料 132万円
    - ・介護保険認定審査会システム制度改正対応委託料 62万円
  - 令和2年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
    - ・修繕料（マンホールポンプ等） 503万円
  - 令和2年度氷川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
    - ・システム改修委託料 20万円
- ※特別会計の金額は千円単位を四捨五入し、万円で掲載していますので、本会計予算額と一部金額が違います。



(まちづくり酒屋・まちづくり情報銀行)

○氷川町電北西部学童保育所整備基金条例の制定

**委員** 学童保育所の建設費用はどれくらいか。

**福祉課長** 来年度、用地造成を行い建設設計の委託を行う予定です。費用は未定ですが、国・県の補助金で3分の1ずつ充て、残りの3分の1を寄附金の一部で賄いたいと考えています。

**委員** 寄附金は建設費に充当し、運営には使用しないのか。



電北西部学童保育所建設予定地

**福祉課長** 建設費用にのみ使い、運営には使いません。

○令和2年度氷川町一般会計補正予算(第6号)

**委員** 振興局費の一般備品の内容は、**地域振興課長** 情報銀行及びまちづくり酒屋に加湿除湿付き空気清浄機を設置し、来客者の感染防止を図ります。

**委員** 交通安全対策費のカーブミラー等修繕の内容は。

**総務課長** 車止めのポールの修繕、カーブミラー1箇所、交差点のライン引きの3箇所の修繕です。

**委員** ふるさと氷川応援基金積立金について、増額されて1億円となっているが見込みはあるのか。

**企画財政課長** 11月末で6465万9000円となっており、目標額を1億円としています。

**委員** 教育費の学生扶養世帯給付金は、半分しか使っていないがその理由は。

**学校教育課長** 対象となる学生の人数把握ができず、税務課の扶養人数を基に年齢制限なしとしており、多くの人数を計上していたためです。

**委員** 学校管理費の教室等床研磨業務委託料について、実施できなかったということだが今後の予定は。  
**学校教育課長** 再見積もりし、計画していきます。

○指定管理者の指定(氷川町まちづくり酒屋・氷川町まちづくり情報銀行)

**委員** 氷川町まちづくり酒屋・氷川町まちづくり情報銀行の主な収入源は生活環境の請負業務によるものか。

**地域振興課長** 生活環境クリーンセンターの請負業務ですが、令和2年度が1690万円、他は600万7000万円の収入となっています。

**委員** 今後の運営については。

**地域振興課長** 現在のところ生活環境クリーンセンターの請負業務は、令和5年度末までです。その後のまちづくり酒屋をどうするかは今後検討していかなければならないと考えています。

当委員会に付託されました案件は、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決しました。

産業建設厚生常任委員会審査報告

委員長 清田一敏

○令和2年度氷川町一般会計補正予算(第6号)

**委員** 保育所費の扶助費で、保育士の人数は把握できているはずだが、減額となったのはなぜか。

**福祉課長** 中途退職者の数の把握ができなかったため多めに計上していたが実績により11名分の減額となりました。

**委員** 電北福祉センター費の外壁改修は令和元年度より始まっている。修繕が増えてきているが今後はどうか。

**福祉課長** 現在工事中の部分は今年度で完了する。今後の修繕等は公共施設の長寿命化計画の中で検討していきます。

**委員** 新型コロナウイルス感染症感染予防対策器具購入助成金は9月補正で計上分の追加と説明があったが、製品が品薄と聞いている。3月末までに納品できない場合は繰越明許になるのか。

**地域振興課長** 特別交付金事業のため繰越明許は考えていません。現在申込みは受付けているが、令和3年2月26日購入分までが補助対象とい

う説明を行っており、それを理解したうえで申込みと思っています。

**委員** 電北公園の健康器具撤去費は。

**地域振興課長** 電北公園に設置してある健康遊具が点検の結果、老朽で金属腐食や木材部のひび割れ等により撤去又は修繕という報告があり、部品の一部が外国製のため材料調達と費用の面から撤去方針としました。

※委員から、「今後遊具等メンテナンスが必要なのは修理等すぐできるように国産を利用することを考えてもらいたい」と意見があった。

繰越明許費について委員から「基本的には事業の取り組みを強化し、繰越にならないよう努力してもらいたい」と意見があった。

○令和2年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

**委員** 委託料の内容は

**町民課長** マイナンバー関係と新型コロナウイルス関係に伴うシステム改修です。

**委員** マイナンバーカード交付率向上についてどう考えているか。  
**町民課長** 防災無線でのPR等を行

い交付率が上がるよう努力します。

○指定管理者の指定について(氷川町立神峡公園)

**委員** 公園は以前と比べ清掃等管理が行き届いていないとの声を聞くが、町の方針等は指定管理者にどう伝えられているのか。

**地域振興課長** 町の唯一の観光地、今後もしっかり維持管理しながら観光客と町民の憩いの場として利用して行きたい。指定管理者には仕様書に基づき毎年度当初に管理施設と業務内容を説明している。管理が行き届いていない部分についての指導や来客者への適切な対応等、指定管理者への指導を続けていきたい。

※委員から、「今回2団体の応募があったが、既存団体と新たな応募者との均衡が取れるような計画書の出し方や採点基準を考えてもらいたい」と意見があった。

○指定管理者の指定について(氷川町電北物産館)

**委員** 物産館は売り上げや客数が減少しているが、どのような改革がな



合同委員会(議案の審査)

氷川町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

- 氏名 高岡 三郎 氏
- 住所 氷川町大野
- 氏名 本田 憲明 氏
- 住所 氷川町鹿野
- 氏名 佐々木貞行 氏
- 住所 氷川町宮原

藤本一臣町長から、氷川町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意したので議会の同意が求められました。議会は異義なく、選任に同意しました。

されているのか。

**農業振興課長** 物産館の売り場環境や周辺の環境など、出来ていない部分もあるので、やるべきことをきちんと改善していきたい。また、出荷の部分で高齢化等もあり午後の品物不足が喫緊の課題になっているので、JA等と協議し改善できればと思っています。

当委員会に付託されました案件は、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決しました。



道の駅電北(物産館)

一般質問

一般質問

Q：感染防止対策の強化と今後の支援策は

A：防災行政無線で予防徹底する今後の支援は検討する



吉川 義雄 議員

感染防止対策の強化を

議員 新型コロナウイルス感染症が全国的に広がって、氷川町でも感染者が出ました。最近では自治体職員に感染者が出ていて庁舎の一時閉鎖も起きている。今後の感染防止対策を強化する必要はないのか。また、感染すると重症化しやすい高齢者の感染防止、感染者の早期発見等の目的で自治体独自のPCR検査を行うところがあるが、本町はどう考えているか。

防災行政無線で予防徹底を周知

町民課長 新規感染者数は11月に入ってから増加傾向にあり、首都圏を中心に増加がみられ全国的な感染増加

コロナ禍における行政運営は

議員 令和3年度はコロナ禍という特異な年度での予算編成となるがどのような方針で臨まれるのか。

町長 来年度は大幅な歳入減を見据えた予算編成になると考えております。そのようなことを踏まえ、歳出での事務事業の見直しを行政改革で進めており徹底して行うよう指示をしております。また必要な事業については継続をする一方、成果を納めた事業については廃止を含めて見直しをしていく必要があると思っています。

コロナ対策については、その状況、あるいは財政の状況、国の支援の状況に応じて臨機応変に対応していく必要があると思っています。

デジタル化の推進は

議員 国においてはデジタル庁が設置されるなど、あらゆる面においてデジタル化の流れが加速するものと思われるが、町はデジタル化推進をど

なっています。県内でも地域で感染がおこっていて、本町で初の感染者が発生しました。

感染防止策は県から情報が来ますので、各課へ配信し情報を共有している。県や国からの防止対策を町のホームページやSNSで配信、各家庭へ防災行政無線で日々の予防徹底を周知している。今後も国や県の指示に従い、対策を講じていきたい。

町独自のPCR検査は考えていません。

職員の忘年会は中止

町長 職員の予防対策はマニュアルをつくり、個人個人が注意をしているところです。4月に職員の異動がありましたが、普通ならば歓迎迎いが開催されるが自粛してきました。毎年12月には職員の忘年会を行っていましたが、それも中止することにしました。

PCR検査は、検査機関等々のすり合わせが必要で、今後しっかりと検討していきたい。

のように考えておられるか。

総務課長 防災行政無線のデジタル化や教育の分野ではICT環境整備によるタブレット導入で、来年度からは全児童生徒一人一台による授業を予定しています。

来年度より各種申請書の押印廃止を図ります。また、今後マイナンバーカードの普及を図り、住民票の写しや印鑑登録証明書の各種証明書のコンビニ二等での自動交付等の導入、定型的な事務の効率化等の検討を行っていく予定です。

民法改正後の成人式はどうするか

議員 2022年4月から18歳を成人とする改正民法が施行されるが成人式はどうされるのか。

生涯学習課長 2022年、令和4年度以降の成人式についてはこれまでどおり20歳を対象とした式典をすることといたしました。理由は18歳を対象とした場合、大学受験や就職活動の時期と重なり負担が大きくなり式典出席者の減

「元気ががんばる券」の再発行はできないか

議員 本町独自の支援策がいくつか出されていますが、その中に「元気ががんばる券」がありました。町民のみならずが大変喜ばれました。再発行の考えはありませんか。

追加発行は考えていないが今後の支援は検討する

地域振興課長 氷川町「元気ががんばる券」は地域経済活動の回復や住民に対する経済支援のため、住民一人当たり5000円を送付しました。発行総数は11万6670枚、金額で5833万5000円。「元気ががんばる券」の本年度の追加発行は考えていません。今後の追加支援については、国の補正予算や町内商工業者等への影響などを勘案し、検討する必要があると考えています。

社会福祉協議会が行っている生活困窮者に対する支援制度があります。平成27年度から令和元年度までに80件の相談があったが、貸付はな

少の恐れがあることや、飲酒、喫煙等の一部の権利は認められずそれらの権利が認められる20歳という年齢は、大きな節目に変わらないこと。また、18歳を対象とした場合、令和4年度式典が3学年対象となり式典運営上、困難であること。以上の理由により方針を決定したところです。

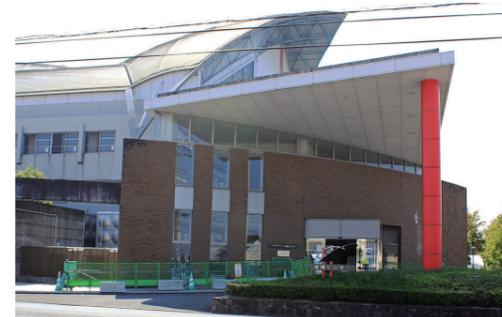
2025年高齢者問題とフレイル予防の考えは

議員 2025年問題を考えていた時、地域包括支援センターの役割はより一層重要になってくると思われる。また、介護予防、医療費抑制の面からフレイル予防対策に取り組む考えはないか

福祉課長 支援センターには4名の専門家が所属し、総合相談支援業務、介護予防ケアマネジメント業務、権利擁護業務を行っています。これらの業務は高齢者だけでなくその家族、近隣に暮らす人の介護の悩みなどにも対応しており、民生委員と連携を図り、健やかに住み慣れた地域で生

できる支援はこれからもしていく

町長 国の臨時交付金を原資に様々な支援をしたところで、その上に町の財源約6000万円を投じ、3億7000万円の事業を展開しています。今後については、国の支援の方向性を見すえた上で、できる支援はこれからも実施していかなければならない。



社会福祉協議会（竜北福祉センター）

活していけるように取り組んでいます。

氷川町では4つの介護予防教室を実施しております。各教室のトレーニングにより要支援や要介護状態への移行を予防し、自立の生活が長く続けられるように取り組むことで介護給付費の抑制につながればと思っています。

氷川町でも保健業務と介護予防も一体的事業において高齢者の介護やフレイル予防、疾病予防、重症化予防に取り組めます。



包括支援センター（宮原福祉センター）

Q：令和3年度予算編成の方針は
A：持続可能な町であり続けるため必要な改革は進めていく



清田 一敏 議員

# 請願

## 国の責任による少人数学級の 前進を求める意見書に関する請願

# 否決

新日本婦人の会八代支部（会長 遠山ハルノ）から出された「国の責任による少人数学級の前進を求める請願」（紹介議員 吉川義雄）が審議されました。

請願は、①小学校・中学校の全学年を30人以下の学級に②教職員を増員③国の責任で少人数学級を求める意見書採択です。紹介議員から、新型コロナウイルス感染症防止のための一斉休校は子どもたちに不安をもたらしました。コロナ感染症防止対策の経験から、全国で少人数学級を求める声が大きくなっている。文科省の「学校の新しいマニュアル」は、感染防止のため席の間を最低でも1メートル程度あけることとしているが、現行の40人学級ではそれも無理。新型コロナウイルス感染症の再拡大が予想されているので、少人数学級の体制は極めて重要で、国が責任をもって少人数学級の前進に取り組むようにすべきで、意見書を採択すべきと述べました。

趣旨説明、質疑応答の後、採決を行い賛成少数で「請願」は不採択になりました。

### 賛成討論

吉川義雄議員

全国の議会では少人数学級を求める意見書採択が相次いでいる。全国知事会、市長会、町村長会が教育環境整備の提言を文科相に提出した。全国市町村教育委員会連合会や日本PTA全国協議会など10団体が少人数学級に言及している。少人数学級を進めている鳥取県は、少人数学級は学力調査からも一定の成果があったと評価している。

コロナ過の中で、生徒児童が安心して学べる環境をつくるのは国の責任。今全国から少人数学級を求める声を上げることが大事。

### 反対討論

西尾正剛議員

少人数学級趣旨は分かるが即対応とはいかない内容と思う。請願項目に国の責任とありませんが、教育は国に一方的に任せるのではなく、地方自治体も役割を担うものと考えます。熊本県では来年4月から中学校の1年生を35人学級にする計画。氷川町は以前から町独自の予算で支援員を確保している。少人数学級にすればよいかという点、先生たちの資質にもよる。孫子に将来の財政負担の付け回しをするのはどうか。

### 反対討論

上田健一議員

自民教育再生実行本部では1クラス30人以下とする取り組みを段階的に進めるために法改正すべきと言っている。文科相も令和の時代新しい学校の姿として30人学級を目指すと考えていることを明らかにしている。文科省も前向きに進んでいるので、請願は必要ない。

# コロナ禍における地方創生 逆参勤交代が日本を変える

## 熊本県町村議会常任委員長・議会運営委員長研修

令和2年度熊本県町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会が、令和2年11月17日（火）菊池郡大津町の文化ホールで開催されました。

三菱総合研究所の未来共創本部主席研究員松田智生氏が「コロナ禍における地方創生逆参勤交代が日本を変える」と題し、講演を行いました。

講演では、加速的に進む日本全体の人口減少は、日本の経済社会にとって大きな重荷である。地方創生とは、東京一極集中は正の観点から中央省庁や研究所・研修機関などを地方移譲し、地方経済活性化や人口流入など、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした施策である。

演題にある「逆参勤交代」とは都市生活者（地方暮らしに関心ある調査で東京圏在住者の49・8％関心がある）の地方への期間限定型リモートワークのことで、地方に移住や転職ではなく、IT環境が整った地方でゆとりある環境で仕事に集中し、週に数日は地域のために貢献することができる、交通機関・ホテルや旅館等の稼働率が向上す

ることや人の流れが生まれ、観光以外の関係人口創出で疲弊した地域経済を活性化する構想である。

実証実験として全国で実施したトリアール参勤交代は6市町村、九州では長崎県杵岐市と熊本県南阿蘇村が取り組まれている。地域の魅力や課題を発見するフィールドワーク、自治体や移住者との討議を経て、最終日には参加者が首長向けに地方創生の提言を発表する。

コロナウイルス禍から地方経済を回復させるには、社会のあり方を一新するような思い切った政策が必要であり、リモートワークを地方創生に活かすことは大きな可能性があるというところだった。

氷川町議会から、三浦賢治・片山裕治・清田一敏が参加しました。



# 町長はじめ議会議員、職員の 期末手当を引き下げ

## 臨時議会 令和2年11月

令和2年第6回氷川町議会臨時会が、11月16日に開催されました。提出された議案は、氷川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正他、条例の一部改正4件、令和2年度氷川町一般会計補正予算（第8号）、物品の売買契約の締結の7議案。

全ての議案を慎重審議し、原案のとおり可決しました。

### 補正予算

- 令和2年度氷川町一般会計補正予算（第8号）歳入歳出の総額から、それぞれ691万円を減額し、予算の総額を84億4423万円とするものです。主な歳出予算は
- 教育費
  - ・GIGA スクール用端末整備支援業務委託料 2736万円（予算組み替え）
  - ・一般備品購入費 691万円減額
- タブレット購入を熊本県が実施した共同調達に参加し、入札残となったものを減額。

### 条例の一部改正

- 氷川町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 氷川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 氷川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 氷川町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 氷川町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正

# 殻を破れ!! 創意、熱意の取り組みに学ぶ

## 第15回熊本県町村議会広報コンクール表彰 令和2年度町村議会広報研修会

令和2年度熊本県町村議会広報研修会が菊池郡菊陽町図書館ホールで開催されました。

今回の研修会は、コンクールの表彰・研修の2部構成で行われました。

第15回熊本県町村議会広報コンクールの表彰が行われ、特選に「南阿蘇村議会広報誌すいげん」、入選に「南阿蘇町議会だより山里」と「大津町議会だより」、特別賞に「あさぎり町議会だより」「ゆのまえ議会だより」が表彰を受けました。



県町村議会広報研修会—菊陽町図書館

表彰の審査講評で、講師から「年々、全体的なレベルアップを実感している。ただ、『徐々に』の感あり。情報への住民の目が肥え、地方議会への期待がより高まる中、『徐々に』でいいか。」と意見があった。また、「住民に議会活動を分かってもらいたいという思いの強さ。それを具体化するための編集方針、表現力の差がある。特に企画、特集への取り組みがポイント。議案審査のプロセス（過程）を重視し、町の広報誌との差別化を重視することも重要。議会広報とは何か、根本的な問いかけを忘れず」と強調された。

講評の後、南阿蘇村、あさぎり町、湯前町・山都町議会代表をパネリストに、越地真一郎（議会広報ファシリテーター・熊本大学客員教授）をファシリテーターとして「殻を破れ!! 創意熱意の取り組みに学ぶ」をテーマにパネルディスカッションが行われました。会場からも、パネリストに作成の取り組み方など質問が相次ぎました。作成の苦労話などもあり、大変有意義な研修でした。

# スポット

## 竜北歴史資料館



竜北資料館 円内は内田康哉氏

今回は、ちよつと趣向を変えて、『竜北歴史資料館』の紹介をします。竜北歴史資料館は、旧竜北町出身で外務大臣等を務めた内田康哉氏（1865〜1936）の業績をたたえ、北鹿野の内田康哉旧居地に平成4年に建設されました。土地や資料は、内田家関係者の方よりご寄附していただき、貴重な資料を展示しています。また、干拓資料室

では、八代地域の干拓の歴史をジオラマで示すとともに、竜北地区の干拓の歴史についても紹介しており、町内小学校の学習の場となっております。

約1万1000冊の蔵書がある図書室を併設しており、図書の利用とともに町民の憩いの場となっております。

平成4年5月に行われた、落成式では、ふるさと創生事業の提唱者である竹下登元首相をはじめ、内田家関係者など約150名が出席し、式終了後には竹下元首相の講話も行われました。

内田康哉氏は、慶応元年（1865年）父玄真、母仁加の長男として北鹿野に生まれました。幼名は、健太郎。七歳のころから医者であった父に学び、若干12歳にして、京都の同志社に入學しましたが、その後熊本に帰り、嘉悦氏房の広取校で数年学びまし

た。明治20年東京帝国大学政治学科を卒業後、外務省に入り外交官となりました。そして、駐清公使、特命大使として、オーストリア、アメリカ諸国に駐在し世界を舞台に外交官としての名声を博しました。

明治44年、第二次西園寺公望内閣での外務大臣就任を皮切りに、大正7年9月の原敬内閣、高橋是清内閣、加藤友三郎内閣でも外務大臣を務め、政友会の万年外相といわれました。昭和7年斎藤実内閣の時に五度目の外務大臣となり満州国の承認、国際連盟脱退の道を歩み、「焦土外交」の名を残しました。昭和8年9月に外務大臣を辞任。昭和11年3月に、72歳でその生涯を閉じました。

現在は、歴史資料館の敷地内に大きな楠の大きな木があり、当時の様子が偲べれます。

### ●表紙のついで

元日の朝、初日をとカメラ抱えて氷川に、一羽の水鳥が水面をスイスイと朝日に向かって泳いでいます。鳥の後には美しい波紋が。氷川町から見える矢山岳（肥後富士）からの新春の陽光が田畑を照らしていきます。清々しいひと時でした。



### ●編集後記

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。感染防止をしっかりとしていきましょう。

議会も感染防止対策の一つで議会の傍聴を中止しています。議会で何が行われているかを町民のみなさんにしっかりと伝えていくことが特に大事になっていると思います。そのためにも「議会たより」の役割をしっかりと果たせるようにしていきたいと考えています。

本議会だより「清流ひかわ」は、熊本県町村議会の議会広報コンクールに応募しました。辛口の講評をいただきましたが、町民のみなさんに読んでもらえるように、今年さらなる努力していきます。議会だよりに対するご意見を頂ければ幸いです。

(吉)